

一 般 質 問 通 告 表

	通告議員	会派	質問事項	要 旨
1	北野 均	絆クラブ	市長の政治姿勢について	
2	松井紀博	絆クラブ	海外交流事業について 市長の政治姿勢について	
3	姫田高宏	共産党	市長の政治姿勢について 事業の進め方について 元気70パスについて	市長の退任表明と予算編成の責任等 について プロポーザル方式によるつつじヶ丘 テニスコートの指定管理者選定とほ うらい荘跡地利用の事業者選定につ いて バスカードの再発行について
4	吉本昌純	市民クラブ	市長の政治姿勢について 教育行政について	
5	奥山昭博	公明党	観光振興について ごみ収集業務について	友ヶ島の観光について
6	松坂美知子	共産党	住宅リフォーム助成制度について 児童福祉について	
7	渡辺忠広	共産党	農業振興条例について 歴史的文化財の保存について	
8	丹羽直子	市民クラブ	子宮頸がん予防ワクチン接種について 児童虐待について	
9	南畑幸代	共産党	雇用政策について 社会保障政策について	国民健康保険について
10	森下佐知子	共産党	教育行政について 旧同和对策事業について	就学援助の充実
11	山本宏一	市民クラブ	市長の政治姿勢について 教育行政について	
12	遠藤富士夫	無所属	市長の政治姿勢について	

(表からの続きです)

し、世論に働きかける。日々世界中で行われているデモは民主的な社会をつくるために欠かせない活動です。労働者の権利をかちとってきたメーデーをはじめ、反戦平和や人権、生活向上を求めるデモは、社会を進歩させてきました。3・11後、日本の行く末が問われるなかで脱原発のように誰もが気軽に参加できる形も広がっています。暴力と憎しみの連鎖を生み、恐怖社会をつくるだけのテロ。

その卑劣な行為をデモと重ねる石破氏は、日本が再び他国を攻撃できるよう「海兵隊を持つべきだ」と口にしてしています。憲法を変え、自衛隊を国防軍に変え、最悪の暴力である戦争に日本を巻き込もうとする政権党の中心人物。それが非暴力のデモにおびえるとは。反対運動の盛り上がりには暗黒勢力が追いつめられている証拠でしょう。(2013・12・2)